



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

9月

土・泥んこ

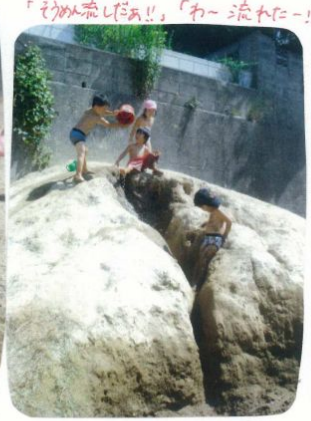


・どろんこ場に水をたくさんかけて、その上を裸足になってズボッ、ズボッと歩き、泥の重さやぬるぬるの感触を味わっていた。
「うわあ!ぬるぬるしてるよー! きもちいい」

「おぼり台作っちゃ! 見て〜!!」
「うわあ! すごーい! せーよ〜!!」 「いいよ〜」
・板を組み合わせおぼり台を作ったが、ス〜とすべらないので、すべる真似をして走り回って遊ぶ。



・「水ちやうだい」「いいよー、はい」「こっち〜」
・水を分ける子がいたよ、運ぶ子がいたよと、あそびの水ご役割もできてきた。



「めいめい流して!!」「わー流れたー!!」

水を運んで、大好きな「めいめいながしごっこ」をする。



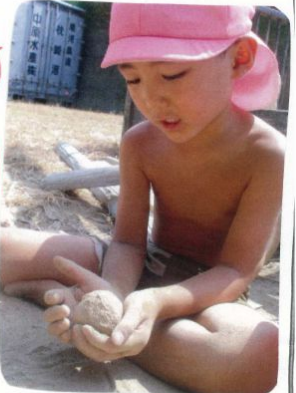
バケツに土を集め、水を入れて、泥んこ作り。二人で一緒に好きなかたさになるまでこねてあそんでいる。
白砂集め、軽いた白砂だけを集めて泥んこ作りには使う。



「見て! いいよ、集めてるの!」



お水のかたよ
お水のかたよ
どちらかかたの団子を作れるか競争中。



・泥んこに白砂を手がして、かたしようとしている。保育者や友だちを見ながら、見よう真似っこ、みんな真似して作るのが流行っている。

海

・園外保育で海へ... 寄せては返す波を眺めて、思わず裸足になって足を付けてあそぶ子どもたち。「くろよ! くろよ! くろよ〜!!」「きたーあー!!」「たー」「にげろ〜」



「うわあ...! きたーあー! きもちいい」

←奥の子は波が来るたびにビニール袋に海水を入れようと、浪の形に波をよく見ている。



「うわあ! 冷たい! 逃げろ〜!!」と言いつつ、わざと波に浸かってあそぶ子どもたち。

植物・小動物

「バツグニニにいたよ!!」
「まねだ」
「つかまえて」
・大きなバツグニにたくさんいるのがわかり、畑の脇道を探索中。



「こゝ飛ぶから見てね!」
「あ...入っちゃった」
・溝に注意するよう伝えると、そこを飛びこえて穴がどうなっているのか気になって入ってくる子どもたち。

